

Dear Michi  
こんばんは。  
マレーシア滞在中は、母子共に楽しい時間を過ごす事ができました。  
初めての海外親子旅で、最初はどうなる事かと思いましたが、現地で皆さんに良くして頂き、とても助かりました。帰国した翌日から、健太に大きな変化が見られ、マレーシアに行って、本当に良かったと思っています！  
マレーシアのお話をご紹介します。感謝しています。ありがとうございます。  
またお会い出来る日を楽しみにしております。 中澤弘美

## 親子留学 in Malaysia



Dear Michi  
ご無沙汰しています。お元気で過ごしのことと思います。  
春になったらお知らせしようと思いがらずっかり遅くなってすみません。  
連は、吉祥寺の井の頭にある明星学園中学に入学しました。公立にするかどうか多少の迷いを感じながらも、合格が決まった時点で明星に行くことを本人が決断しました。あまり厳しい縛りがなく自由に過ごせるらしく本人はとても気に入って通っています。部活は陸上や体操に入らなかったのにあまり入部者がいなくて、仕方なく気の合う友達に誘われて剣道を始めました。一学期は剣道なんてやりたくなかったとぶつぶつ言っていたのに、2学期に入るとなんとなく馴染んできたみたいです。保護者は月1回のペースで行われ、一学期は特に自由=放任主義ではないことの説明が何度もありました。学校では子供を規則で管理したくない反面、子供自身に行動に責任を持たせる教育の難しさもあるのでしょうか、学校と保護者の連携を強く求められているような感じがします。校外では多くの誘惑が待ち受けているし。社会ではなかなか子供を野放しに出来ない環境なので学校も過敏にならざるをえない感じです。私立に行かしたのでまどうことも多いですが、基本的に子供を尊重し管理されずに意思のある人間を育てるなどの基本的な希望が共通している父兄が多いので保護者として私も明星学園に関わる事がとても楽しく感じられます。今は、連の毎日の生活を想像することが楽しくて、毎日彼の前で笑っている自分を幸せだと思ったりします。不登校の頃までは、子育ての楽しさを心から感じたことはなかったと思います。みっちゃん先生に改めて感謝です。 金丸信乃



ジョーク Blonde on a plane.....  
A plane is on its way to Toronto, when a blonde in economy class gets up, and moves to the first class section and sits down.  
The flight attendant watches her do this, and asks to see her ticket. She then tells the that she paid for economy class, and that she will have to sit in the back.  
The blonde replies, "I'm blonde, I'm beautiful, I'm going to Toronto, and I'm staying right here."  
The flight attendant goes into the cockpit and tells the pilot and the co-pilot that there is a blonde bimbo sitting in first class, that belongs in economy, and won't move back to her seat.  
The co-pilot goes back to the blonde and tries to explain that because she only paid for economy she will have to leave and return to her seat.  
The blonde replies, "I'm blonde, I'm beautiful, I'm going to Toronto, and I'm staying right here."  
The co-pilot tells the pilot that he probably should have the police waiting when they land to arrest this blonde woman who won't listen to reason.  
The pilot says, "You say she is a blonde? I'll handle this, I'm married to a blonde. I speak blonde."  
He goes back to the blonde and whispers in her ear, and she says, "Oh, I'm sorry." And gets up and goes back to her seat in economy.  
The flight attendant and co-pilot are amazed and asked him what he said to make her move without any fuss.  
"I told her, First class isn't going to Toronto."



Hello Dream  
NPO 10年アリガトウ・プロジェクト  
★ミッチー ★今野教育委員長  
大船渡市の今野教育委員長にNPOハロー・ドリームからの義援金と、アルゼンチンのエスコラピアス教会が経営する小中高校から届いた手紙を手渡す。東海新報社の取材を受ける。



「結返(ゆいがえ)し」 阿部秀行

今では死語となっているが、「結」という言葉がある。わが故郷である福島県いわき市。お椀を返したような阿武隈山系のふところに抱かれて、その言葉は残っていた。昭和30年代のことである。13軒ほどの集落は、郡山へ抜けていく街道筋の宿場として、農林業を営んでいた。今は様変わりして、かすかに昔の面影を残すのみである。

この集落における「結」の制度は、田植えや稲刈り等の日取りを調整しながら、お互いに労働力を提供し合うことを意味する。「結借り」、「結貸し」といって、金銭を介さないでやりとりすることであり、特に、「結」を返すときの「結返し」という言葉が、こころに響いてくる。沖縄では「ゆいまーる」(結を回す)といい、モノレールの名前となっている。いわば、日本の村落共同体が持つ助け合いの精神である。震災が起きた時、わが集落では屋根瓦が落ち、建物の一部損壊はあったものの、大きな被害までは至らなかった。むしろ、その後続く余震の恐怖と原発の吐き出す放射能の汚染により、大半の家族が避難を余儀なくされたのである。市中心街には、物資の入ってこない日が何日間も続き、そこへ追い討ちをかけたのが、「風評被害」という人的汚染である。まるで福島県そのものが、日本という国から疎外されているかのよう。東日本大震災の後は、「ボランティア」とともに「絆(きずな)」という言葉も多く耳にした。これまでに、こんなに多く耳にすることはなかったと思う。結ばれた糸が半分に切れないようにつなぎ止めておくことを意味するのであるが、語源を遡ると、家畜が逃げないように柵につなぎ止めておくという意味もあるとのこと。「ボランティア」という言葉もまた、多く使われている。今や日本語の一部と化したきらいもあるが、日本語の概念を通して置き換えようとする、どの言葉がふさわしいのか、見当たらない。一般的には「奉仕」と訳されるが、どうもしっくりとこない。「結」・「絆」・「ボランティア」。これらの言葉の概念を、いま一度しっかりと捉え直してつなぐ必要性を痛感している。沖縄の「ゆいまーる」がふさわしいのかも知れない。今後どんなに時を経ようとも、東日本大震災のことが風化されることのないように、自らに問い続け、世界へと発信していかなければならない。何故なら、すでに福島は、FUKUSHIMA (フクシマ)として、世界に発信されてしまっているのであるから。

Congratulations!!

\* 川嶋良尚 オークランド工科大学入学  
\* 難波三津子 武蔵野大学キャリアデザイン講師

大槌町の仮設住宅を訪問して 萩原康子

三月の気仙沼に続いて、十一月再び被災地に行ってきました。  
総勢九名。私が所属している傾聴のボランティアグループです。私たちは被災者の方たちに直接お会いしてお話を聞きたいと思いました。そこで、昨年の八月から現地入りして支援しているKさんをお願いして、被災地訪問をアレンジしていただきました。  
今回訪問したのは、岩手県釜石市大槌町です。ここは町長以下多くの町職員を亡くし、町役場がすべて津波で流された町で、住民の資料が一切なくなり他の地区より一段と復興が遅れているとのことでした。

最初に大槌町役場に行きました。Kさんは役場の前の空き地を指し「地震対策の本部としてここにテントを張っていたときに、もう津波がやってきたといいます。」と言いましたが、そこからは海が少しも見えないのです。急に津波が襲ってきたときの恐怖は、どれほど大きかったことでしょうか!鉄筋コンクリートの町役場は無惨に残骸をさらし、震災から二十ヶ月が過ぎても時が止まっているようでした。

その後、大槌町の仮設住宅に行きました。  
Kさんは数カ所の仮設住宅の集会所で、交流会が持てるようにしてくれていました。そこには十四~十五人くらいの人が集まってくれました。年代は六十代から八十代、一人暮らしの女性が多かったです。

私たちは傾聴のグループではありますが、無理に話を聞き出すことは控えようと心掛けました。お茶やお弁当はみなさんの分も持参しました。また一行の一人に手芸が得意な人がいましたので、みなさんと千代紙でしおりを作ったり、松ぼっくりを使ったクリスマス飾りを作ったりしました。雰囲気ながご楽しい時間を過ごすうちに、自然に怖かった震災の話が出てきます。そこにいる誰もが生きるか死ぬかの瀬戸際の、大変なドラマを持っていました。

まだ長い夢を見ているようで、目が覚めると自分が「何でここにいるのだろう」と現実感がわかないと言います。狭くて寒い長屋の仮設は音や振動が直接響くので、気を使いながら暮らしているのだそうです。不自由な暮らしを助けあって暮らしている様子に胸が熱くなりました。これから寒い寒い冬がやってきます。

「私たちに今できることはなんですか?」という問いかけに「ずっとこの震災をことを忘れないでほしい。こんな思いをしている被災者のことをみんなに伝えてほしい」と言われました。

「必ず伝えます。お元気でどうぞください」。  
いつまでも手を振って、泣きながら見送ってくださった被災地のあなた方のことを決して忘れません。

Dear Michi-San, Sweden   
I was happy to receive a copy of Maple News ( 2011 vol 67 ) from my mother and see a picture of me.  
It was an incredible time with a major accident where we could do alot of good for the patient. We are still amazed ourselves about that story and every time I see a loose dog, that's what I think about.  
According to my mother you and Hino-Chan are doing well. I hope so. We are also well, my whole family. I have a small family with one daughter that will be 4 this month. My wife is working at the same hospital as I am and she is a speech pathologists. I finished my training to become a specialist in plastic surgery one year ago and this fall I will try to also become a specialist in general surgery. We travel as much as we can, and 2 years ago my small family went to Cameroon in Africa to help and offer free plastic surgery(reconstructive) both on burns and childrens with cleft lips as well as anything that crossed our paths where we could help. But that is an entirely different story, more crazy than a dogbite....  
Take care and thank you for the great copies of Maple News. Yours,  
Jens Larsson